

報道機関各位

消防本部予防課予防係
警防課警防係

タイトル 「第70回文化財防火デー」に伴う予防査察及び消防訓練について

下記のとおり報告いたしますのでよろしくお願いいたします。

| | |
|----------------|---|
| 行事・事業名 | 「第70回文化財防火デー」の実施 |
| 日時 | 令和6年1月25日(木) 9時30分～ 予防査察(有年地区) 1月26日(金) 9時30分～ 予防査察(赤穂地区) 1月26日(金) 9時00分～ 消防訓練 (赤穂市立歴史博物館) |
| 場所・住所 | ※詳細については、別添資料のとおり |
| 趣旨・目的(PRしたいこと) | <p>1月26日は、法隆寺金堂壁画が焼損した日(昭和24年)にあたり、この日を「文化財防火デー」と定め、文化財等を火災、震災その他の災害から守るため、全国的に文化財防火運動を展開し、文化財愛護思想の高揚を図っています。</p> <p>当市消防本部においても、1月25日(木)、26日(金)に赤穂市内13カ所の文化財で予防査察を実施します。</p> <p>また、1月26日(金)9時00分から「赤穂市立歴史博物館」で消防訓練を実施します。</p> <p>※消防訓練では、はしご車からの放水を行います。</p> |
| 問い合わせ先 | 部課係名：消防本部予防課・警防課 担当者名：予防課査察担当 西川(予防査察関係) 警防課警防係 葛島(消防訓練関係) 電話：予防課 43-6882 内線(5272) 警防課 43-6883 内線(5242) FAX：代表 45-0119 |

○添付資料(有・無) ○ホームページへの掲載(有・無) ○議会報告(有・無)

「第70回 文化財防火デー」査察等実施計画

1 趣 旨

1月26日は、法隆寺金堂壁画が焼損した日（昭和24年）に当たるので、この日を「文化財防火デー」と定め、この日を中心として市内の文化財等を火災、震災その他の災害から守るため、「文化財防火運動」を展開し、市民の文化財愛護に関する意識の高揚を図るものである。

2 査 察

- (1) 実施日等
- | | | |
|--------------|-----------|---------------|
| 令和6年1月26日（金） | 9時30分から | |
| 赤穂市 ※有年地区除く | 10施設（赤穂署） | |
| 令和6年1月25日（木） | 9時30分から | 有年地区 3施設（上郡署） |
- (2) 実施対象物等 別紙のとおり
- (3) 重点項目
- ア 消防法令違反等の是正の徹底
 - イ 文化財建造物等の関係者に対する防火・防災指導
 - ウ 消防用設備等に係る定期点検の励行の指導

3 消防訓練

- (1) 実施日時 令和6年1月26日（金）9時00分から
- (2) 実施場所 赤穂市上飯屋916番地1 赤穂市立歴史博物館
- (3) 訓練内容 別紙のとおり

4 その他

査察は赤穂消防署予防課、上郡消防署庶務予防係及び教育委員会 文化財課文化財係が合同で実施する。

文化財等査察実施予定表

赤穂市（有年地区除く）

| 実施日時 | 文化財名称等 | 地区 |
|-------|------------------------------|-----|
| 1月26日 | 9:30 赤穂市立歴史博物館（赤穂の製塩用具外） | 上仮屋 |
| | 10:00 赤穂大石神社（大石良雄宅跡長屋門） | 〃 |
| | 10:30 近藤源八宅跡長屋門（市指定・有形文化財） | 〃 |
| | 11:00 赤穂市立民俗資料館（旧日本専売公社赤穂支局） | 加里屋 |
| 1月26日 | 13:30 妙見寺（妙見寺観音堂） | 坂越 |
| | 14:00 旧坂越浦会所（市指定・有形文化財） | 〃 |
| | 14:30 普門寺（木造千手観音坐像） | 尾崎 |
| | 15:00 赤穂市立美術工芸館 田淵記念館（田淵家文書） | 御崎 |
| | 15:30 田淵氏庭園（国指定記念物） | 御崎 |
| | 16:00 光浄寺（木造浅野赤穂藩主坐像） | 新田 |

有年地区

| 実施日時 | 文化財名称等 | 地区 |
|-------|------------------------------|------|
| 1月25日 | 9:30 有年家長屋門 | 東有年 |
| | 10:00 東有年・沖田遺跡公園（東有年・沖田遺跡） | 〃 |
| | 10:30 赤穂市立有年考古館（有年考古館収蔵考古資料） | 有年檜原 |

第70回文化財防火デーに係る消防訓練の実施について

- 1 目的 「第70回文化財防火デー」を迎えるにあたり、貴重な財産である文化財を火災等の災害から守るために消防訓練を実施することで、消防戦術の確立を図ると共に、市民の文化財愛護に関する意識の高揚を図ることを目的とする。
- 2 日時 令和6年1月26日（金）9時00分から10時00分
- 3 場所 赤穂市上仮屋916番地1 赤穂市立歴史博物館
※国指定有形民俗文化財 赤穂の製塩用具外
- 4 参加車両 赤穂21、赤穂23、赤穂26、赤穂27、赤穂33、赤穂36
- 5 訓練想定 歴史博物館1階から出火。現在、建物内は黒煙が充満しており火炎が建物外に噴出している模様。
なお、建物内に要救助者が1名取り残されている模様。
- 6 訓練内容 指揮隊（赤穂21）
災害状況の把握及び活動方針を決定し、各隊に活動内容を下命する。

第2中隊 第1小隊（赤穂27）
駐車場に車両を部署。赤穂33から補水を受け、高所放水を行う。バスケット内の隊員は、災害状況を確認し中隊長へ報告する。

第2中隊 第2小隊（赤穂33）
駐車場に車両を部署。赤穂27へ補水を行うとともに分岐管から1線延長し出火建物への放水を実施する。

第2中隊 第3小隊（赤穂26）
駐車場に車両を部署。赤穂36が救助した要救助者を引き継ぎ市内A病院へ搬送する。

第1中隊 第1小隊（赤穂23）
駐車場に車両を部署。1線延長し第1中隊第2小隊が実施する屋内進入の援護注水を実施する。

第1中隊 第2小隊 (赤穂36)

駐車場に車両を部署。第1中隊第1小隊の援護注水を受け、屋内進入。要救助者の救助活動を実施する。

ドローン隊

建物周辺を飛行させ、延焼状況の把握を行い、指揮本部に報告する。

7 参加者 赤穂消防署 消防長以下 29名

8 その他 訓練は雨天決行で実施します。

戦闘図及び進入経路

